

問 豊間根地区の振興は

答 交流人口の創出を図る



きくち こうめい 議員
菊地光明
(新 生 会)



集会所建設予定地である旧豊間根中学校

問 令和4年9月の定例会においても指摘したが、山田北インター完成に向けて新しい豊間根地区の街づくりの方向性について、集会所施設をはじめ下水道整

備など各種施設の取り扱い。

佐藤町長 豊間根地区

の新たな集会所施設は、支所機能も有する施設として旧豊間根中学校校舎跡地に建設することで地域との合意を得ており、7年4月の供用開始に向けて進めていく。旧荒川小学校校舎は、山田北インターフル化に向けた町の活性化に資する施設として、ウイズコロナを見据えた新しい働き方として普及しているテレワーク対応のワーケーション施設など関係人口や交流人口の創出が図られるよう検討する。下水道整備は、財政負担が大きいことから、当面、浄化槽設置整備補助事業を継続し、個別に対応していただく考えである。

問 下水道整備に費用がいくらかかるのか。

田畑上下水道課長 勝

山地区の概算事業費は、約13億円と試算している。

問 各地区の詳細設計について詳しく説明せよ。

上下水道課長 その他

の地区について、事業費がどのくらいになるのか調べてみたい。
問 4年度と5年度に事業スキームの検討を進めるとのことだったがどうか。

町長 山田北インター

のフル化による整備効果を最大限に活用するため、山田北インター周辺の活性化策を検討し、工業団地の整備や企業誘致に取り組むなど働く場の確保に向けた取り組みを進めることにしている。

問

まちなか振興策は

答

誘客イベントの開発に取り組む

問 新・道の駅についても完成間近になっているが、交流人口を増加させるため、どのような事業を行うのか。

町長 町の特産品を広くPRし、特産品需要

を高めていくほか、各種イベント等を継続して実施する。また、オートキャンプ場の再開に取り組む。